

2022.05.15. 聖書預言・アップデート

不幸中の幸い

JD ファラグ牧師

日曜日の朝は、2つの礼拝があります。オンライン視聴者の皆さんを歓迎します。第一礼拝は、長年毎週している「聖書預言・アップデート」そして、第二礼拝は節ごとの「聖書の学び」現在「ヤコブの手紙」です。今日は、「話」についてを話します。特に、イエスに従う信者として、イエスを信じるストレートな話です。先に読んでおられる人は、3章3節に何が書いているか知っていますよね。3章1節から12節までが今回の箇所です。またユーチューブやフェイスブックでご覧の方は JDfarag.org サイトへ直接行かれ、検閲なし、中断なし、今日の完全版の「聖書預言・アップデート」をご覧ください。

それでは！始めましょう。今日のアップデートでは、聖書預言に関連し、よく知られた慣用語「不幸中の幸い」についてお話したいと思います。「不幸中の幸い」の定義を簡単に言うと、良い事です。最初は悪い事のように見えたけれど、最後にはその見えた事が祝福に変わります。このような趣旨の聖句がたくさんあることは、ほとんどの人が知っているでしょう。しかし私が今日皆さんに注目頂きたいのは2つ、「創世記50章20節」と良く知られている約束「ローマ8章28節」です。まず「創世記50章20節」から始めましょう。他の全聖書聖句と共に、私がお気に入りの節ですが、これはヨセフが兄たちに向かって、こう発する箇所です。

創世記 50

20 あなたがたは私に悪を謀りましたが、(しかし) 神は それを、良いことのための計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が生かされるためだったのです。「ローマ書8章28節」、29節を含むべきですが、「ローマ書8章28節」は、

ローマ 8

28”神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たち”(以上修飾語) のためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。

その修飾語が29節で定義されます。その目的は何なのか、私たちの人生における神の目的は何なのか。それは、何よりもまず、私たちが御子イエス・キリストの似姿に造りかえられることです。理解する重要点は、木曜日の夜、エレミヤ書の学びでこのことを話しました。笑ってしまうのは、、、わお〜。何という書なのでしょう。神の愛は常に無条件です。しかしながら、神の御約束の多くは、条件付きです。ちょっと説明が必要かもしれませんね。神の私たちへの愛は無条件です。アガペの愛です。アガペ=無条件この愛は、それは、私たちが何かをするのが前提ではありません。それが神の愛です。しかし、神の御約束には、条件があります。これが、私たちは条件付きで約束されている事例の1つで、神はどんなに悪いように見える事でも用いられ、神にしか御出来にならない方法で良いものに、益になさいます。私たちには方法も、時期も、道も分かりません。しかし、信仰によって、私たちは、”知っています” = キーワード神が悪いことを用いて良いことになさるのを。どんなに悪いことがあっても、神が常に良い方であるのを変える事は決してできません。神の愛は無条件です。

さて皆さんは、私が何を言おうとしているのか分かっていると思いますので、ポイントに入って言います。この2年余りは、「不幸中の幸い」だったということです。同意しますか？ 敵は、人間の邪悪さを通して、この全てを悪のため意図して来ました。「しかし、神は。」それを良いことのための計らいとされています。これは2つの道があります。

1つ目は、ノンクリスチャンが主の救いへ辿り着いている事。

2つ目は、クリスチャンが主にさらに近づいている事です。

繰り返しますが、神は神だけが御出来になる方法で、常にご忠実で、今起きている全てを引き起こされ、それが起こっていて、そして、まだ起きていないことまで、共に働かせ、善と主のご栄光のためになさいます。それが重要で、最終的に神がご栄光を受けられるからです。しかし、そうすることで、このことは、私たちが知っている人類歴史が最後の7年を迎えるにあたり、人間の悪と邪悪さを露呈する効果もあります。個人的に信じるのは、私たちは7年間の患難時代の寸前にいます。「ダニエル書」の最終章、7年間の患難時代に関するこの魅力的な預言があって、真に理解すれば、この預言に関する最も重要で強力な原則を物語っているのが分かります。では「ダニエル書 12章」の最初の4節から始めたいと思います。

ダニエル 12

1 その時、あなたの国の人々を守る大いなる君ミカエルが立ち上がる。国が始まって以来その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る。...

因みに、マタイの福音書 24章オリーブ山の垂訓でイエスは今読んだ聖句を引用され、患難時代はかつて見たこともなく、二度と見ることもないと述べられます

...しかし (ダニエルよ) その時、あなたの民 (イスラエル) で、あの書に記されている者はみな救われる。

2 ちりの大地の中に眠っている者のうち、多くの者が目を覚ます。ある者は永遠のいのちにある者は恥辱と、永遠の嫌悪に。

3 賢明な者たちは大空の輝きのように輝き、多くの者を義に導いた者は、世々限りなく、星のようになる。

しかし、4節ですが、注意して聞いてください。

4 ダニエルよ。あなたは終わりの時まで、このことばを秘めておき、この書を封じておけ。多くの者は知識を増そうと捜し回る。」

皆さん「知識を増そうと捜し回る。」この預言の教えを聞いたことがあるのではないのでしょうか。私自身もそうでしたし、旅行や技術の向上という点でも、確かに起こっていますし、この預言の一部です。しかし、この預言の解釈について、もう一つの可能性を提案したいと思います。私がそうであったように、皆さんにも開かれるかもしれません。ダニエルはこの預言を封じておくよう言われます。封印。御言葉を封じ込めよ。時が来るまで、秘めておけ。その時はいつ？ お～終わりの時まで。その時まで、封印せよ。これを「多くの者が知識を増そうと捜し回る」と読む代わりに、こう読むとどうでしょう。「この書物の中に封印され、秘められている預言の知識を増そうと、多くの人が終わりの時まで捜し回る。」ベストを尽くしました。伝わったのでしょうか？ 皆さん、ついてきていますか？ なぜなら、それが文脈ではないのですか？ 再度、お付き合いください。ダニエルが導かれてこれを書いている文脈は、この書に書かれている預言に関して、ダニエルがミカエルと交わした対話を導かれて記録したものだからです。そしてダニエルは言われました。

「封じておきなさい。閉じておきなさい。秘めておきなさい。これは今のあなたの為ではない。これはその時のあなたの民の為です。」

いつですか？ 終わりの時です。お～ では、その意味は、終わりの時は、もはや秘めず封じない。多くの者がこの書の預言の知識を増そうと捜し回るから。再度「ダニエル書」の12章8節を見ます。ダニエルはミカエルとの対話でこう答えます。

ダニエル 12

8 私はこれを聞いたが、理解することができなかった。そこで私は尋ねた。「わが主よ、この終わりはどうなるのでしょうか。」

9 彼は言った。「ダニエルよ、行け。このことばは終わりの時まで秘められ、封じられているからだ。

それから彼は、10節でこう言います。

10 多くの者は身を清めて白くし、そうして錬られる。悪しき者どもは悪を行い、悪しき者どものだれも理解することがない。しかし、賢明な者たちは理解する。

言い換えれば、「ダニエルよ。封じておきなさい。これはあなたの為ではない。あなたは自分の道を進むのです。ダニエルよ。しかし終わりの時は、悪を行う者は悪を行い続け、正を行う者は正を行い続けます。お～因みにダニエルよ、しかし、賢明な者たちは理解します。邪悪な者は理解しません。」さて、聖書の最後の書、黙示録の最後の章、22章に早送りしてみましょう。ヨハネが聖霊によって書いています。10節、

黙示録 22

10 また私に言った。「この書の預言のことばを封じてはなりません。...

お～ちょっと待って。ダニエルにそのことを話したのですか？ なぜならダニエルは、封じておくよう言われたからです。一いいえ！！ 封印を解きなさい。この書の預言の言葉を封印してはいけません。その理由を知りたいですか？

...時が近いからです。

訳すと、封印を解く時です。もう封じてはいけません。開いて、封印を解きなさい。この書の預言の言葉を開く時です。今がその時です。お～鳥肌ですね。本土の方は「さぶいぼ」、ハワイでは「鳥肌」です。それから11節を見てください。ダニエルが書いたのと同じことを言っています。

11 不正を行う者には、ますます不正を行わせ、汚れた者は、ますます汚れた者とならせなさい。正しい者には、ますます正しいことを行わせ、聖なる者は、ますます聖なる者とならせなさい。」

お～私の心を落ち着かせます。よろしければ、皆さんに神がどのように、私の心を励まし、強め、起きていることすべてに関して、心を落ち着かせて下さったのかお伝えします。空欄が埋まった感じで、言わば説明するのに点と点が繋がりました。説明できるかもしれません。確かに言い訳にはなりませんが、今や私は理由が分かります。というのも、私はちょうどこの書で、邪悪なことをする者は邪悪なことをし続けるという、封印されていない開かれた預言を読み終えたところだからです。お～今分かります。義をする者は、義をし続ける。聖なる者は、ますます聖なることをする。何が起きているか分かりますか？ ですから「不幸中の幸い」と言うのです。では先に進むので、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信をここで終了します。

一本編一

では言明します。以前もしましたが、誤解されやすい傾向は痛感しています。しかし、今回のコロナの件は、今までで最高の出来事でした。神はしばしば、善をもたらされるため悪をお許しになるのを、皆さんが理解している前提で話を進める必要があります。例えば、前述の預言でダニエルは、反キリストの悪が、イスラエルをキリストのもとに導くと告げています。因みに、患難時代の目的は、ユダヤ人国家の救いです。神がお許しになっている悪は、終わりの時に、完璧な預言の計画を、完璧なタイミングで実現するための触媒のような役割を果たすと言えます。ある人の言い方が好きです。「悪魔は神の悪魔である。」

そんな風に思ったことはありますか？ 悪魔は被造物ですよ。悪魔は全知全能ではありません。そして偏在もしません。なので、いつも私はスツとするというか、こういうことを言うのと同罪で、「なあ、先週は本当に悪魔にやられたよ。」悪魔が？ ほ～ あなたは重要人物なのですね。だって悪魔は、同時に複数の箇所にはいませんから。つまり悪魔があなたを選んだのでしょ？ わお～私は相応しくない。私は相応しくない。違います。悪霊です。サタンが成功したのは、人を騙して、自分は神と対極の存在だと信じ込ませることでしょう。サタンは神の対極ではありません。彼は被造物です。神がサタンを創造されたのです。これが皆さんを混乱させるかもしれません。そうではないのをお願いします。しかし、神はルシファーがすることを前もってご存知で、ルシファーを創造されました。とにかく神が悪魔を創られたのです。お～私はこの缶を開けてしまいました。何とかした方がいいですね。このことで理由が分かりますよ。ルシファーが、天で自分を高く上げ、言った時、

「私は私の王座を最も高いところの上に置こう。」(イザヤ 14:13 参照)

「私が、私が、私が、私が.....。」-(笑)- 私が=I 問題です。そして天から地へ追い出されるのです。では質問です。なぜなのか？ なぜ神は、その場で彼を消去しなかったのか？ 私だったらそうします。だから私は神ではないのです。皆さんだって同じことをしますって。お～マジですか？ 皆さん、、、秒殺。以上。なぜ神は、ルシファーを天から追放し、天の軍勢の三分の一を地上と一緒に、連れて行くことを許されたのでしょうか。そう、彼らは今もいますよ。なぜ神はやり直されないのでしょうか。こういう風に仰らないのでしょうか。「OK。では、それ迄です。」なぜならそうなされば、天の誰もが、愛ではなく、恐れから神を見て仕えるようになったでしょう。私の頭の中では、こんな風に考えます。こういうのを臨床用語で言うのでしょうか、天から追放されなかった御使いをこんな風に想像します。

「ルシファーが何をしたのか聞いた？ 神が彼を消したんだって。御使いの友達の三分の一も。火曜日の夜、一緒に 聖書の学び をしてたのに。秒殺だって。私たち気をつけた方が良いね。」
全様相が変わってしまいます。更にその先があります。ここにサタンがいて、、、神は熟知されながら、アダムとエバを創造されました。決して思わないでください。アダムとエバが罪を犯した時、天の神がこう仰るのを。

「へ？冗談だろう？ わたしは言ったではないか。たった1本の木だぞ。その他全てをあなたに与えたのに。この一本だけは、と言ったのに。なぜ、なぜあなたはこんなことをしたのか。今や、プラン B じゃないか。」

違います。神は、何が起こるかを正確にご存知でした。では、なぜ神は最初からやり直されなかったのでしょうか？ なぜなら、繰り返しますが、私ならそうします。ですから皆さんも、そうしたでしょう。アダム 2.0 とエバ 2.0 を創造して、やり直そう。いいえ。それなら全てが変わったでしょう。そう、罪は罪として、悪は悪として、その道を歩まねばならないのです。それがすべてが変えたでしょう。だから園の真ん中に善悪の知識の木があったのです。神は私たちに、選択肢を与えたいと願っておられるからです。神に仕え、彼を愛することは強要されないように。

「神がそんなに愛に満ちておられるなら、なぜ悪を許しておられ、世の苦しみが続くのでしょうか？」という質問がありますよね。ええ、非常に複雑な質問であることは分かっています。簡略化しすぎることを承知で言えば、人間に選択肢を持たせるため、神はそれを許しておられるのです。人間に選択の自由を与えておられるのです。神は、私たちが神を愛しているからこそ、選択するのを望んでおられるのです。

神は決して、ご自分を押しつけるようなことはされません。神は、愛に満ちた方です。悪が続くことを許しておられ、ここがポイントです。その悪が、神の預言のご計画通りに完璧に進行することを許しておられるのです。予定通りに。「ええ、でも牧師さん、本当に酷くなっています。」「分かっています。」しかし、神は。「ええ、でも悪は、日ごとに悪化しているように見えます。」「分かっています。」しかし、神は。神はその悪を用いられ、それを働かせ、完璧な神の預言のご計画を実現されます。ですから、神は悪魔がこの全てを行うことを許可されます。ヨブに聞いてみてくださいよ。神は最終的に私たちの益と神のご栄光のためでない限り、サタンが何かをすることを決して許されません。興味深くないですか？ 皆さん、また別の書ですが、わお～何という書でしょうか。「ヨブ記」を一節一節を学んでいた時、こんなTシャツを買わなきゃ。「ヨブ記を学んで生き抜いたぞ！」何という書でしょうか。しかしポイントは、その書の始まり、のっけから、サタンは、彼は今まだ天に入る事が出来るのですよ。だから、新天新地になるのです。神は既にご存知でしたが仰います。「ああ、おまえはどこから来たのか？」

「地を歩き巡り、そこを歩き回って来ました。」(ヨブ 1:7)

神はこうです。

「地を歩き巡っていたなら、わたしのしもべヨブに心を留めたか？」(ヨブ 1:8)

「あ、そうそう、実はそうなんです。それが、今回立ち寄った理由です。彼があなたに仕える理由は、あなたが非常に彼を祝福されているからです。あなたが私にヨブに手を出させてくだされば、彼はあなたを面と向かって呪うでしょう。」

神は仰います。「お前に任せる。」(ヨブ 1:12 参照)

私がヨブなら、、、イエスに対するペテロを考えます。イエスが仰います。

「ペテロよ。サタンがあなたを麦のようにふるいにかける許可を求めました。」(ルカ 22:31)

ペテロが固まったかどうか分かりませんが、そうだったとして、私がペテロなら、自分に当てはめると、「だめだと仰いましたよね?」「いいえペテロ。許可しました。わたしはサタンに許可を与え、あなたを麦のようにふるいにかけるのを許しました。なぜなら、最終的にあなたの益とわたしの栄光になるからです。」「OK。サタン、やってみるがよい。」

興味深くないですか？ 神は、これはしてもよいが、それはしてはならないと仰います。サタンは、神が彼に許可された以上のことはできないのです。ポイントは何か？ 私のポイントは、神は、その悪が神の完全な御心を達成する限りにおいて、その悪を許され、コントロールされるのです。悪魔は神の悪魔です。

では別の例です。キリストの初臨に戻りましょう。イエスはその後、十字架にかけられ、葬られ、よみがえられ、戻って来られることを約束されました。神は悪魔に、救世主の磔刑と死をお許しになりました。そして神は、イエスの復活と救いの善をもたらされました。同様に、神は、この世の言葉にならない悪を許され、最終的に神の善をもたらされることが、この終わりの時に生きる私たちにも当てはまるのが真理では？ 敢えて言うなら、今の世に悪があるから、神の御霊によって生まれ変わった者が数え切れないほどたくさんいるのです。もう一步踏み込んで言わせて頂きます。神の許しがなければ、救われなかった者が大勢いるということです。神はこの全てをお許しになっています。以前にアップデートしたと思います。「悪を抑制し、義の者を支える」というタイトルでした。(2021.09.19.) これには聖書的な根拠があります。「第二テサロニケ2章」引き止める者についてで、今、私たちが引き止めているのです。神がお許しになっている悪を制御し、抑制しているのです。その悪は、神がご計画し、許可されたことをす

べて達成するからです。ですから悪は、ダニエル書やヨハネの黙示録で読んだように、今も続いています。悪を行う悪は、これからも悪を行い続けるという感じですね。逆に、義を行う者は、義を行い続けます。しかし問題は、これは欺瞞だという事です。神は、私たちがコロナと呼ぶこの邪悪な欺瞞を許されました。理由があってそういう言い方をしています。これまでも、今も、そしてこれからも、人々を最後に死をもたらし続けます。そして、その影響は今も続いています。携挙のこちら側では、この世のすべてを失って、来世のためにイエスに救いを見出した人たちのことを、決して知ることはないでしょう。これって、私たちの信仰の逆説ではないですか？ 皆さん、どういう意味か分かりますか？ 聖書全体を通して繰り返されています。

「生きたいなら、死ぬ。得たいなら、失いなさい。」(ルカ 9:24 参照)

「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら、何の益があるでしょうか。」(マルコ 8:36)

「上る道は下り道」は、私たちクリスチャン信仰の逆説です。私たちの人間性、罪の性質、アダムの性質の全てに反し、私たちはそれに反対します。

自分のいのちを得る者はそれを失い、いのちを得たいなら、失いなさい。(マタイ 10:39 参照)

時にそれが必要なのです。神はそれをお許しになります。神は、私たちを自分の終わりまで連れて行きたいと願っておられるからです。私たちはその時になって初めて、手を上げて言うのですから。「主よ、どうすればよいのか分かりません。」そう主が、どうすべきかご存知です。主は私たちを、あなたや私がまさにその場所に来るのをお許しになっておられます。そうならなかったら、私は主のところに来なかったでしょうから。自分が今まで信頼を置き、頼り、目を向けていたものすべてが消え去ったのですから。ある人が言ったことが好きです。「イエスがあなたの全てになるまで、イエスがあなたに必要な全てだとは決して分からない。」しかし、それにはこれが必要です。ですから「不幸中の幸い」なのです。個人的な参照を許してほしいのですが私自身の人生、主との歩みの中で、神は、最も大きな祝福をもたらすため最も苦しい経験を許されました。もう二度と経験したくないと思いつつも、神がもたらして下さった祝福を何にも引き換えにはできません。神が許された悪のど真ん中で、神がなされた善は、ふ〜。使徒パウロを考えます。彼は基本的にこんな風に言いました。

この世の苦しみ、困難、苦難、辛い試練はそれらはとても辛いものですが、待ち受ける栄光とは比べものになりません。(ローマ 8:18 参照)

もしかして、神はこのためにお許しになっておられるなら？ どういう意味ですか？ コロナと呼ぶものを神がお許しになっているのは、繰り返しになりますが、理由があって、そのように言っています。神は、このようなことが起こるのを全て許されました。考えられませんよね？ 神が許されたことの中で、そのことを通して、私たちを彼のところに連れて来られるため、その全てが起こるのをお許しになっています。正直に言えば、幾人かは、神に連れ戻された者もいます。ありがとうカポノ、あの賛美。ちょっと下手ですが、頑張っています。あの賛美を書いた人は、後退しました。あれを書いてから、主から離れたのです。

♪ 迷いがちな人は、来なさい。あらゆる祝福の泉よ ♪

♪ 迷いがちな人は、、、

主よ、私は分かっています。彼は、あの賛美を書いた後、つまり壮大で美しい賛美です。彼は迷い、そして後退しました。そしてある日、彼は一人の女性に出会いました。その女性は、彼の賛美を歌っていまし

た。そして、彼は彼女に近づき、彼女と会話をし出します。彼女は、この賛美がどれほど素晴らしいかを話します。そして、彼女にこんなことを言うのです。私は、この賛美を書いたあの哀れな男です。そして砕け落ちます。出来る事なら、迷い込む前の自分になれるように。「詩篇 119」ダビデの詩。

詩篇 119

71 苦しみにあったことは 私にとって幸せでした。それにより 私はあなたのおきてを学びました。

これは良い事です。この悪い事は、良い事なのです。この邪悪さは、「不幸中の幸い」です。この苦難、お〜良い事です。この苦難がなかったら、この試練がなかったら、神がこの悪をお許しになっていなければ、私はどうなっていたか分かりません。もしこれがなかったなら。繰り返しますが、私の個人的な参照をお許してください。この数年の私の人生に、全てを通して神は牧師としての私に深く働いて下さいました。ただ、でも、良かったのです。難しかったけれど、良かったのです。辛い試練を、神に感謝したことはありますか？ どういう意味か分かりますよね？ あなたが言うのは、

「主よ、悍ましかったです。でもありがとうございます。本当にありがとうございました、主よ。これをお許し下さってありがとうございました。なぜなら、これがなかったならあなたが私に教えられたかったことを私は学ぶことができなかつたでしょう。というのも、これを通して、これまでにはなかった私の全集中があなたに向けられたからです。マルタのように私は色々と忙しいのです。マルタがたくさんいます。皆さん誰の事か分かりますね。手を上げなくて良いですよ。

「マルタ、マルタ、なぜそんな忙しくするのですか？」(ルカ 10:41 参照)

「聞きなさい。料理は後でもできます。マリアはその良いほうを選びました。わたしの足元に座り、すべての御言葉にしがみついているのです。」(ルカ 10:40~42 参照)

自分に当てはめましょう。「JD、何をしていますのですか？何がそんなに忙しいのですか？ ちょっとこっちへ、、、わたしはあなたの注意を引きましたか？」「はい。注意を引かれました。」「OK。話す必要があります。あなたに見せたいものがあるのです。あなたに話さねばならない事があります。わたしはあなたの注目を引けませんでした。わたしは、あなたの注意を引くため、これを許さねばならなかったのです。今、わたしはあなたの注意を引いたので、あなたは一言一句に集中しています。さあ、あなたに言わねばならないことを言います。あなたに見せたいものを見せます。そうすれば、このことからあなたが学ばねばならないことをあなたは学べます。そうならなければ、あなたは学べなかつたでしょう。これが起こらなかつたなら。」「不幸中の幸い」です。今日は、よくするように、不必要に長い「聖書預言・アップデート」をしたくはないので、分かってください。ですから締めくくりに入ります。これにショックを受けないでくださいね。時計も見ないでくださいよ。簡単に言えば、これが終わりです。これが終わり方です。これは、聖書預言が終わりの時にどんな状態になるかを教えている事実です。聖書預言の知識が深まり、聖書の約三分の一が、聖書預言です。これらの預言の多くは、場合によっては、終わりの時に何が起こるかに関して非常に具体的です。頭が良くなくても、IQ が平均以上でなくても大丈夫です。むしろ、それが資産よりも負債になることもあるのです。あなたがロケット科学者でなくても、何が起きているのかを見て、聖書見れば、聖書預言が起こると語っているのが分かると思います。正にその通り、その通りが起こっています。それで終わりだと分かるのです。「ちょっと待ってください牧師さん。失礼ながらですけど、、、」そんな風に切り出されたら、困りますね。「失礼ながら言いますが、ある有名預言教師が、'あと50年は大丈夫だ' と言っているのを聞いたことがありますよ。」えっと、、、いいえ、ありません。

「じゃあ、なぜあと50年もないなんて、力説して、独断専行できるのですか。」時間が許しませんが、2

つ理由をお伝えします。

1) 聖書の黙示録にある技術は、こんにち存在する技術であること。

今より 10 年、15 年でも先に行けば、その技術を超えます。特に、技術の進歩の速さには目を見張るものがありますから、聖書にある技術を超えます。

2) これは御心なら、今後の別の「聖書預言・アップデート」ですが、地球自体がもう無理です。地球に住む肉にある者も、今の状態で、今向かっている方向で、無理でしょう。そのすべてが今、起きています。今やこれ迄です。終わりです。

「分かりました、牧師さん。失礼ながら、もしあなたが間違っていたら？」ええ、50 年以内に主のもとに帰りますよ。悪いけど。皆さんもでしょう？ 殆どの方が。ー(笑)ー

「ダニエル書」と「黙示録」を先ほど読みましたね。もはや預言を封じてはいけません。終わりの時に封印してはならない。ヨハネの黙示録 22 章を読みましたね。ヨハネはこう書いています。「封印を解きなさい。終わりの時だから封じてはいけません。」それが終わりの時です。最後の 1 つ。もし、これが真実であれば、絶対にそうだと確信しています。患難時代前携挙に近づいていることを知れば、私たちは燃えるような緊急性があるはずで、言わば時間があるうちに、イエスを人々に、人々をイエスのもとに導かねばなりません。これがこのアップデートを行う理由です。ですから、イエス・キリストにある福音/ゴスペル・良い知らせで締めくくるのです。ですから、子どもにでも分かるシンプルな救いの説明「救いの ABC」で締めくくるのです。福音/ゴスペルとは何でしょうか。福音/ゴスペルとは良い知らせです。それがこの単語の意味です。

「良い知らせだ。あなたの負債は支払われた。あなたは自由です。」=良い知らせ。「誰が支払ったのですか？」イエスです。「どうやって支払ったの？」お～イエスは人となって地上に来られ、十字架にかかられ、葬られ、3 日目によみがえられた。そしてある日戻って来られます。これが良い知らせです。「救いの ABC」とは？ 誰かに福音を伝える簡単な方法です。唯一ではありません。1 つの方法です。

A：自分が神に背いた罪びとであることを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

繰り返しますが、私がこれを言うのに飽き飽きしないでほしいのですが、誰かに福音を伝えるとき、理解する為これが非常に重要なのです。自分が罪びとだと認めないなら、救い主に興味がありません。なぜ救い主が必要でしょうか、となります。問題は、人々が全体的に自分は良い人間だから十分だと考えていることです。その問題は、良い人がたくさん地獄にいて、悪い人がたくさん天国にいます。それが天国に入れるかどうかを決める基準ではないからです。私たちが良いか悪いか、どんな行いをしたかは関係ありません。

「私たちはこの恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは自分から出たことではなく、神の賜物です。」(エペソ 2:8-9)

それがイエスのなさったことだったのです。イエスは十字架上で御業を完了されました。

ローマ人への手紙 3 章 10 節に書かれています。

「義人(正しい者)はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節がその理由です。

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

ローマ人への手紙 6 章 23 節、本当に私のお気に入り、言わば悪い知らせと良い知らせがセットなのです。正しい英語ではないのは分かっていますが、悪い知らせが悪ければ悪ほど、良い知らせがぐ～んと良

くなります。悪い知らせとは？

「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)

今、誰しもが罪びとだと読みましたね。誰しもが死に向かっている意味ですよ。「私たちみんな死ぬの？」そうです。それが罪の罰則だからです。私たちみんなが罪びとです。誰しもが死刑宣告を受けているのです。悪い知らせです。でも、良い知らせがあるのです。しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23b)

ですから、イエスが来られ、私たちの身代わりで死に行かれたのです。「私は死刑を宣告されました。」イエスは仰います。「わたしがあなたのために死にましょう。」

「人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。」(ヨハネ 15:13)

私たちがまだ罪びとであった時に、キリストが私たちのために死んでくださったからです。なぜか？イエスの私たちへの愛が故です。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ 3:16)

それが次の、中心のBに繋がります。ABCよりも簡単で、Bだけでいいほどです。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

ローマ人への手紙 10章9-10節

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

私にはかなり明確に聞こえます。ここに曖昧さはありません。陪審員はいません。判決は出ています。どのように答弁しますか？「有罪確定です。」「私は罪を犯しました。神の栄光を受けることができません。神の完全な義の基準には足らないのです。的外れなのです。」それが罪という言葉の意味です。アーチェリー用語です。矢を射て、的を外すと、言われます。「あなたは罪を犯した。的外をした。届いていない。」私たちみんなが的を外しているのです。神の完全な義の基準に届いていないのです。イエスが来られて仰います。「あなたは罪を犯しました。的外れています。届いていないのです。でも、わたしはそうではありません。」「あなたは律法を破りました。わたしは律法を成就させました。」「あなたは死刑を宣告されました。あなたの身代わりにわたしが死にましょうか？」「ええ〜？」裁判官は言います。

「良い知らせだ。あなたの死の罰則は支払われた。あなたは自由です。」

「子(イエス)があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。」(ヨハネ 8:36)

最後にCです。C：主の御名を Call/呼び求める。再度、**ローマ人への手紙 10章9-10節**

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

その理由は、

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」(ローマ 10:10)

最後に、ローマ人への手紙 10章13節です。あ〜〜『主の御名を呼び求める者は"みな"救われる。』新約聖書の原語ギリシャ語で調べると、"みな"という意味、知っていますか？ 意味深ですよ。"みな"は、みんなです。すべての人が罪を犯しました。『主の御名を呼び求める者は"みな" "救われる""救われる""救われる。』それほどシンプルなのです。ある意味、シンプルすぎるとも言えるかもしれません。

でも子どもにでも分かるシンプルさです。イエスは仰いました。

「子どもたちのようにならなければ、決して天の御国に入れません。」(マタイ 18:3)

福音のシンプルさ、子どものような素朴さが嬉しくないですか？ そんな簡単でシンプルなことが嬉しくないですか？ 想像出来ますか？ もし複雑だったら、私は救われていなかった。もし私が何かをしたり、申請書類を出したりしなければならぬなら。ある一定の条件を満たさないと意味です。それなら私は救われていなかったでしょう。違います。それほどシンプルなのです。私にとっては40年前でした。

「ローマ人への手紙 10章 13節」が40年前です。私がしたのはそれだけ。祈りに不思議なものや神秘的なものがあるなら、それは何も悪いことではありませんよ。先週、ヤコブの学びでこの話をしましたね。祈りを繰り返したり、祈りを唱えたりすることができても、それがあなたがたを救いません。(ヤコブ 2:14 参照)

私の場合、主の御名を呼び求めた時、まず第一に、とても酔っていたんです。自慢できることではありませんが。ハイになっていました。実際祈ったわけではないんです。ろれつが回らず、「地獄には行きたきゃない。。」それが私の救われた方法でした。主を呼び求めただけです。そう言いながら眠ってしまって、翌朝起きたら、キリストにあって新しく創造された者になっていました。

「古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(II コリント 5:17)

人それぞれなのは分かっています。私にとっては大変劇的だったんです。つまり、ああいう物をもはや欲さなかったのです。なぜなら、私は今や、私の中におられる聖霊の新しい創造物だからです。私は新しく生まれました。(新生しました) 私は新しく生まれ変わったのです。

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』(ローマ 10:13)

では、最後に「しかし、神は。ストーリー証」を紹介します。クリス・ジェイコブソンさんからです。

「しかし、神は。です。私の牧師、JD へ。私たち夫婦は、主を信じて一步を踏み出しました。二人とも収入を失いました。妻は給料をもらって、クビになりました。私は4カ月間、無給休暇です。国は私の病気休暇を全部支払いましたが、3、4週間の給料を逃しました。私たちは西オーストラリア州のパースに住んでいます。注射をせず、なおかつ仕事を持つことはほとんど不可能です。接種なしは、仕事なし。妻は、新薬や治験薬の研究プロジェクト・マネージャーとして15年間勤務した、ロシュ・ファーマという会社で職を失いました。注射を必要としない会社の面接が決まったばかりで、とてもいい感じだそうです。今週分かるでしょう。私は医者に行かなければならず、何とか神経科医の予約を取りました。その医師は私に注射をしないよう勧める書面をくれました。その医師は、あなたが半死半生でなければ、誰も免除を受けられないとはっきり言いました。多くの人がそうであるように、私も不可能だと思っていました。私は諦めました。私は失敗しました。文句を言いました。私は紅海を目の前にしたヘブル人で、すべての希望を失っているのでしょうか。”あなたの御心で全てなされますように。”

しかし、神は。全ての注射の免除をもらえました。復帰時期の通知をするだけでいいんです。イエス様、ありがとうございます。JD 牧師、ありがとうございます。」

神がそうなさるのが大好きです。主を褒めたたえます。一拍手喝采ー

カポノは上がってきてください。皆さん、ご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。

主よ、あなたにただただ感謝します。どうすれば十分感謝できるのでしょうか。お～神様。聖書預言に感謝します。福音のシンプルさに感謝します。救いに感謝します。あなたが全額支払ってくださった無償の贈り物です。

主よ、あなたが悪を支配し、悪を許してくださることを感謝します。なぜなら、それが最終的にあなたの預言のご計画を完璧に、完全に実現するからです。ですから主よ、それで然りです。ここにいる人、オンラインで見ている人の中で、あなたを呼び求めたことがない人、あなたに信頼を置き信じたことのない人が、主よ、私は祈ります。今日が彼らの救いの日になりますように。彼らが、永遠のいのちという人生で最も重要な決断を先延ばしにしませんように。

主よ、ありがとうございます。私たちはあなたを心から愛しています。主よ、マラナタ。早く来てください。

主イエスよ、早く来てください。(黙示録 22:20)

イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7